

往復書簡

今回からは、株式会社株式会社あつぷふあーむソリューションズの高橋隆造社長と当機構理事長の高木勇樹の往復書簡が始まります。高橋社長は、米生産のほか、食味値を訴求した新しいお米ブランドを立ち上げるなど、斬新な取組みで農業界に新しい風を吹き込んでいます。

拝啓 高木 勇樹 様

立春とは名ばかりの寒さで、梅のつぼみもまだ堅いようですが、高木理事長におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

体調を崩したのをきっかけに、仲間二人と共に鳥取県の山間部へ「ターンし、野菜とコメ作りを始めたのが平成21年。そこで私は、長年農業に携わっておられる生産者の方々が、美味しいものを生み出そうとの思いで休み無しの過酷な労働を続けているにもかかわらず、多くの生産者が期待通りの利益が得られていないという厳しい農業生産の現実に直面しました。こうした現場の状況に対して、「もつと積極的に農業改革を！」とは言われるものの、農業生産者が主体となる具体策が乏しいという現状に対し、「低迷する日本の農業を、独自の企画力で改革したい！」という思いを持ちながら、今日まで続けてきました。

地域自慢のお米を高値で流通させることを目指して始めた企業向けの田んぼのオーナー制度「水田オーナーズクラブ」。開始5年で全国4拠点、参加生産者数70戸以上、オーナー数が100社を超えました。

そして、自分も生産者として出品を始めた「米・食味分析鑑定コンクール・国際大会」を通じてお米の成分を計測し、数値化した食味値というものに魅了され、その数値を前面に打ち出す販売方法を立案しました。お米の品質本位で勝負できる、農家さんの努力が価格に反映される仕組みです。これはコンクールを主催する米・食味鑑定士協会の鈴木会長のご支持もいただき、平成25年に「米風土（まいふうど）」ブランドとして立ち上げました。これも多く

の方々に認知されはじめ、百貨店やスーパーでの取り扱いが拡大しつつあります。

今後の取組みとしては、多くの高品質な農産物の更なる安心と安全をお約束できる仕組みを導入し、農業への関心を高め、日本の農業を更に成長させることを目指して立ち上げた「JAPAN FARM AWARD 協会」の活動を通じて、日本の農業界の発展のために、努力していきたいと思っております。

平成二十七年一月吉日

敬具

高橋 隆造（たかはし りゆうぞう）

一九七四年 大阪府豊中市生まれ
二〇〇九年 鳥取県に「ターンし、農業法人株式会社あつぷふあーむ」を設立。農作物の生産を開始。水田オーナーズクラブを発足。
二〇一三年 グループ会社株式会社あつぷふあーむソリューションズにて、お米ブランド「米風土（まいふうど）」の販売を開始。



上段：高橋社長

下段：当社の「米風土」シリーズ

拜復 高橋 隆造 様

二十四節気では立春が過ぎれば二月十九日は恵みをもたらすとされる雨水。日だまりにいと確かに春を感じさせるきょうこの頃です。三寒四温の気候で、特に私のような年齢になると体調管理に気を使います。

貴兄に初めてお会いしてお話をしたとき、感性の豊かな方、私流にいえば森羅万象に対応可能なものさしをお持ちの方と感じました。

その思いは昨年六月二十日でしたが、高橋さんのあつぷふあーむソリユーションズ主催のお米のイベントにお招きいただき、その斬新さ、来場者の多様さを目の当たりにして、確信に変わりました。

お米関係のイベントだからどうせダサいに決まっていると。ところがイベント会場は渋谷区猿樂町の住宅街のしゃれた一角、集まった方も若い女性中心に多様。戦前生まれの小学生の度肝を抜くのに十分でした。

更に食味の点数で価格設定した「米風土(まいふうど)シリーズ」という商品設計にも時代の先をとらえる感性を強く感じました。

ジャパンタイムズの方に続き「あいさつ」をさせて頂いたのですが、予め心の中で用意していたセリフが全く場違いなことに気付き、とても焦ったことを昨日のように思い出します。

「…私の時代はお米は主食で、無条件に大切なものと教

えられました。今日この場に来て、大切なものだけとお米は楽しむもの、自分で価値を見つけるものになっているのだと思いきらされました。」というようなことをしどろもどろに話したように思います。

お手紙の「独自の企画力で改革したい」という思いの真の狙いが、あのイベントに参加させて頂いたことで良く理解出来ましたし、農業が総合知識集約産業であるにもかかわらず、高橋さんのような方とのコラボがないと、その真の価値を実現し、もうかる経営につなげられないのだと実感しました。

そしてこのJ・PAOのひとつのミッションはそのような取組みをされる方々のプラットフォームになることだと考えますが、高橋さんのお考えを次回お聞かせ頂ければと存じます。

平成二十七年二月吉日

敬具

高木 勇樹 (たかぎ ゆうき)

一九四三年

群馬県生まれ

一九六六年

東京大学法学部卒後農林省入省。食品流通局砂糖類課長、大臣官房企画室長などを経て、食糧庁管理部長、畜産局長、大臣官房長、食糧庁長官など歴任。

一九九八年

農林水産事務次官、二〇〇一年退官

二〇〇二年

㈱農林中金総合研究所理事

二〇〇三年

農林漁業金融公庫総裁、二〇〇八年同公庫退任

二〇〇七年

NPO法人日本プロ農業総合支援機構副理事長

現在、NPO法人日本プロ農業総合支援機構理事などの立場から、わが国農業・農村の活性化、食の問題の解決に向けた活動に尽力。

